

事 務 連 絡  
平成 2 9 年 1 月 1 9 日

各 都 道 府 県 教 育 委 員 会 事 務 局  
各 指 定 都 市 教 育 委 員 会 事 務 局  
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 課  
御中  
附 属 学 校 を 置 く 各 国 立 大 学 法 人 事 務 局  
構 造 改 革 特 別 区 域 法 第 1 2 条 第 1 項 の 認 定  
を 受 け た 各 地 方 公 共 団 体 の 学 校 設 置 会 社 担 当 課

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

### 感染性胃腸炎の流行状況を踏まえた感染予防対策の啓発について

標記について、厚生労働省から別添のとおり依頼がありました。これによると、12月19日から12月25日の時点において、本シーズンの感染症発生動向調査における感染性胃腸炎患者の報告数が過去10年で3番目の水準となっており、ノロウイルス感染症の集団発生が引き続き危惧される状況であるとされています。

学校においては、ノロウイルスをはじめとした感染症及び食中毒の予防の観点から、「ノロウイルスに関するQ&A」（最終改定：平成28 年11 月18 日）及び「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）」等を参考に、引き続き、適切な対応をお願いします。また、学校給食における衛生管理及び食中毒の防止についても、学校給食衛生管理基準（平成2 1 年文部科学省告示第6 4 号）に基づく取り組みを行っていただいているところですが、改めて衛生管理の徹底及び感染症の防止に努めていただきますようお願いいたします。

については、都道府県教育委員会におかれては、域内の市町村教育委員会及び学校等に対して、各都道府県私立学校主管課におかれては、所管の学校法人等に対して、国立大学法人におかれては、その管下の学校に対して、構造改革特別区域法第1 2 条第1 項の認定を受けた地方公共団体におかれては、学校設置会社等に対し周知くださるようお願いいたします。

（参考ホームページ）

○文部科学省ホームページ

「学校給食衛生管理基準の施行について（通知）」

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/nc/1283821.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/1283821.htm)

「学校給食調理場における手洗いマニュアル」など

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/syokuiku/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/syokuiku/index.htm)

○厚生労働省ホームページ

ノロウイルス等検出状況 2016/17 シーズン

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

ノロウイルスに関するQ&A

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）

<http://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM&feature=youtu.be>

**【本件連絡先】**

文部科学省初等中等教育局

健康教育・食育課学校給食係

T E L:03(5253)4111（内線2694）

E-Mail:shoku@mext.go.jp

事 務 連 絡  
平成 29 年 1 月 13 日

{ 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課  
法務省矯正局矯正医療管理官室 } 御中

厚生労働省

健康局結核感染症課  
医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部監視安全課

感染性胃腸炎の流行状況を踏まえたノロウイルスの感染予防対策の啓発について

ノロウイルスの感染及び食中毒の予防については、平成 28 年 11 月 22 日付け事務連絡「感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの感染予防対策の啓発について」、平成 28 年 12 月 21 日付け事務連絡「感染性胃腸炎の流行状況を踏まえたノロウイルスの一層の感染予防対策の啓発について」において、各自治体衛生主管部（局）宛て啓発や指導等を行っていただくよう依頼しています。

直近の第 51 週（12 月 19 日～12 月 25 日）時点において、本シーズンの感染症発生動向調査における感染性胃腸炎患者の報告数は、過去 10 年で 3 番目の水準となっており、ノロウイルス感染症の集団発生が引き続き危惧される状況です。

つきましては、貴省におかれましても、ノロウイルスの感染及び食中毒の予防の観点から、引き続き「ノロウイルスに関する Q&A」（最終改定：平成 28 年 11 月 18 日）及び「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）」等を参考に、関係団体等に対し、感染予防対策及び食中毒予防対策について周知し、より一層の感染予防対策の啓発に努めるようお願いします。

「参考」

(※ 1) ノロウイルス等検出状況 2016/17 シーズン

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

(※ 2) ノロウイルスに関する Q&A

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

(※ 3) ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）

<http://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YdM&feature=youtu.be>

事 務 連 絡  
平成 28 年 11 月 22 日

各 { 都 道 府 県  
保健所設置市  
特 別 区 } 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省

健 康 局 結 核 感 染 症 課  
医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部監視安全課

### 感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの感染予防対策の啓発について

感染性胃腸炎の患者発生は、例年、12 月の中旬頃にピークとなる傾向があります。この時期に発生する感染性胃腸炎のうち、特に集団発生例の多くは、ノロウイルスによるものであると推測されており（※1）、ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒の発生動向には注意が必要となります。

つきましては、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が急増するシーズンに備え、「ノロウイルスに関する Q&A」（平成 16 年 2 月 4 日作成 ※2）及び「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）」（※3）等を参考に、手洗いの徹底、糞便・吐物の適切な処理等の感染予防対策の啓発に努めるようお願いします。

また、これまで感染者が食品の調理に従事することによる食中毒也多発していることから、平成 19 年 10 月 12 日付け医薬食品局食品安全部長通知「ノロウイルス食中毒対策について」等を参考にノロウイルスによる食中毒の発生防止対策にも留意願います。

#### 「参考」

（※1）ノロウイルス等検出状況 2016/17シーズン

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

（※2）ノロウイルスに関する Q&A（最終改定：平成 28 年 11 月 18 日）

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/syokuchin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/syokuchin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

（※3）ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）

<http://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM&feature=youtu.be>

事務連絡  
平成 28 年 12 月 21 日

各 { 都道府県  
保健所設置市  
特別区 } 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省

健康局 結核感染症課  
医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部監視安全課

感染性胃腸炎の流行状況を踏まえたノロウイルスの一層の感染予防対策の啓発について

ノロウイルスの感染及び食中毒の予防については、平成 28 年 11 月 22 日付け事務連絡「感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの予防啓発について」において、啓発や指導等を行っていただくよう依頼しました。

直近の第 49 週（12 月 5 日～12 月 11 日）において、本シーズンの感染症発生動向調査における感染性胃腸炎患者の報告数は、直近 5 年間で最も流行した平成 24 年のピーク時に迫る水準となっています（一部の自治体で検出された多くのノロウイルスは過去に流行した GII.2 の変異株であることが判明しています）。

つきましては、ノロウイルスの感染や食中毒の予防の観点から、引き続き「ノロウイルスに関する Q&A」（最終改定：平成 28 年 11 月 18 日）、「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）」等を参考に、手洗いの徹底、糞便・吐物の適切な処理等、より一層の感染予防対策の啓発に努めるようお願いします。

加えて、これまで感染者が食品の調理に従事することによる食中毒も多発していることから、従事者の健康状態の確認を徹底するとともに、体調不良者については食品の調理に従事しないよう引き続き指導方よろしくをお願いします。

なお、現在、流行が確認されているノロウイルス GII.2 変異株については、現在市中で使用されているノロウイルス迅速診断検査キット（イムノクロマト法を用いたキット）では、他の株より更に感度が低い可能性があることが、国立感染症研究所より指摘されています。ノロウイルスによる感染の疑いがある場合は、検査結果に関わらず感染防止対策等に努めていただくことをご留意願います。

「参考」

（※ 1）ノロウイルス等検出状況 2016/17 シーズン

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

(※2) 宮城県内で流行しているノロウイルス (NoV) の遺伝子型について

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/norovirus-m/norovirus-iasrs/6921-443p03.html>

(※3) ノロウイルスに関する Q&A

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

(※4) ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い (動画)

<http://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM&feature=youtu.be>